

辺野古、高江の抗議活動に参加して

2016年7月22日

菅谷智樹

7月16日

沖縄に到着。

7月17日

昼頃に辺野古到着。以前よりも抗議活動の参加者が少ない。聞くと高江の緊張が高まっていて、そちらに人が行っている。行けるなら高江に行つて欲しいとの事。

珍しくアメリカの方がスピーチをしていた。

いわく、アメリカも市民は沖縄の基地のことはあまり知らない、日本の子供達とアメリカを含む海外の子供達のつながりでこの状況を変えていけるのではないかとの事。

私も短く、沖縄の参院選大差での勝利は我々の進むべき道である、大変勇気付けられた、そして沖縄と全国の温度差は無関心に有り、これを変えていかねばならぬ、とスピーチした。

高江に移動。辺野古から1時間程度。途中、複数の機動隊の車両(通称カマボコ)とすれ違う。千葉など関東から来ている模様。

以前の情報から抗議活動のテントが有るはずのN4ゲート前と思われるところに到着、おかしい、抗議活動をする市民は居らず、サングラスの集団が威圧的に立ち並んでいる。ここはN4ゲートかとたずねると黙って首を傾げるのみ。

とりあえず先に進む。サングラス集団は他の場所(後にメインゲート前と判明)でも威圧している。更に複数のカマボコとすれ違う。

更に進むと座込みまで1kmの看板。ホツとして車を走らせ、ようやく抗議活動をしているN1ゲート前に到着。辺野古と違い特に指定の駐車場は無く、車を路肩に停め降り立つ。ゲート前に市民の車が2台、更にその前に市民の車が10台ほど隙間なくピッタリ並べてある。ゲートと並んだ車の間にサングラス集団がやはり威圧的に立ち並んでいる。ようやく彼等が沖縄防衛局の職員(恐らく多くは臨時の雇われ)と判る。人数は10名ちょっと、他の場所に比べ抗議活動のど真ん中なので威圧度は下がる。1時間程度で交代している模様。



テントにて説明を受ける。ヘリパッド計画6箇所のうち、N4の2箇所は完成済みで現在抗議活動はN1ゲート前で行われている(後に最新の案内をWebで検索したところ修正版が出ていた、が見つけにくい)。やはり参院選後から状況が悪化しているとの事。各地から機動隊が集まり500人とも1000人とも言われている(この時現場には防衛局の他に機動隊が10名程度か。中には市民と親しげに話していた方も居り沖縄県警と思われる)。この日は特にスピーチやコールをする集会は行われておらず、参加者は数十名程度と思われる。

以下、現地の方からの情報(一部事前情報を含む)。

既にこの日、機動隊とのみみ合いで抗議活動をしている市民の女性に怪我人が出たとのこと。(実はこの方、我々が辺野古に行った際に是非高江へと教えてくれた方。大事は無かった様で何より。)

ヘリパッド建設予定地の北部訓練場は、所有者は国だが米軍に提供している土地であり、県道自体が米軍の敷地内にある(そのため他の米軍基地の様に道路とフェンスで区切られていない)。ヘリパッド建設予定地は東村(ひがしそん)に有る。北の国頭村(くにがみそん)は北部訓練場が有るがヘリパッド建設と引き換えに大部分が返還される予定。西の大宜味村(おおぎみそん)は、訓練場は無い。そして、直近の東村の村長選で「オスプレイ配備は反対だがヘリパッドは容認」の候補が僅差で勝った。国頭村もヘリパッド容認、大宜味村は反対。東村は基地の恩恵を受けている住民も多数いるため、ヘリパッド容認村長が勝ったのではないかとの事。工事の受注による恩恵かと思いきや工事は顔が知れている地元では採用しづらく、周辺の大宜味村等から来ているとの事。だが大宜味村はオスプレイの訓練ルートに入る事が予想され反対している模様。翁長氏当選の県知事選、今回の参院選でも県内で東村、国頭村の2村のみ自民が勝っているが、差は縮まってきたとの事。一応、東村の村長もオスプレイ配備に反対している手前、工事車両を通さないと発言しているらしいが、ゲート前の市民の反応は懐疑的。

既に完成したヘリパッドではオスプレイの訓練が始まっており、夜 10 時を過ぎても轟音が響き子供達を中心に健康被害が出ているとの事。辺野古は全国的にも知られてきたが、高江はまだ知られていない。報道もほとんどされない。そんな中、高江での闘いを記録したドキュメンタリー映画「標的の村」を見て、抗議活動に参加しにくる方が多いとの事。自分も未視聴のため要視聴。7月30日に市川で予定される上映が関東での最終上映。ショートバージョン(?)が YouTube にアップされている。

<https://m.youtube.com/watch?feature=youtu.be&v=raJ8vTr8r4c>

夕方になり、夕飯の時間もあるのでこの日は引き揚げる事に。

7月18日

高江に移動。

この日は着いてすぐ分かる程、抗議活動参加者が多かった。前日の倍?百名近く居たのではないかと思われる。防衛局、機動隊は大きな変化無し。辺野古でも皆の指揮を取っていた山城さんが居り、山城さんの音頭でコールする市民。ゲート前の市民の車の更に前(つまり車道)を横長の輪になってグルグル行進しながら声を上げた。更に三線と唄も加わり氣勢が上がる。

地元沖縄のテレビ局から取材を受ける。高江に来たきっかけ、現状を見ての感想、現政権のやり方への批判を述べた。

暑さのため集会は一時中断、休憩場所を確保するため、県道脇の茂みの草刈りを実施。もちろん、やり過ぎて自然破壊にならぬよう最低限で。細い竹は長く残すと怪我をするのでできるだけ短くなど、やってみて初めて気付く事もあった。子供達も参加者の皆さんと触れ合い楽しそうだった。前日に怪我をされた女性も途中から参加され、元気そうであった。

お昼になり、後の予定もあるため引揚げる。

7月20日

東京に帰還。